

「日本の絆」基金 設立趣意書

急速な情報技術革新の進展、全ての地域で進行する格差の拡大により、世界経済社会は激動化しています。その中であって、日本はあらゆる先進諸外国に先駆けて少子高齢化が進行し、人類社会がかつて経験したことのないさまざまな困難な課題に直面しています。

こうした課題に対応するため、私たちは何を拠り所に未来に立ち向おうとしているのか、が今問われています。

私たちは、江戸城天守再建を契機として、日本の歴史・伝統・文化に対する新たな気づきを促し、日本に生まれたこと・日本人であることの誇りと喜びを分かちあえる社会を目指します。日本の風土に根ざし長い歴史と伝統ではぐくまれてきた私たちの持てる力を呼び覚まし、手を携えて直面するさまざまな課題に積極的に取り組めるような人のつながり・新たな「絆」づくりを目指します。

このため私たちは、次のような活動を展開することとして「日本の絆」基金を設立しました。

- 1 江戸城天守再建の賛同署名100万人の獲得、江戸城再建の意義（世界の中の日本の独自性の認識）の明確化とそれに対する国民意識の醸成
- 2 全国の「城」を介した地域の独自性の認識と地方創生への取組、地域住民の連帯・連携意欲の醸成

そこで、私どもは、公益財団法人公益推進協会に「日本の絆」基金を設立し、皆様のご協力の下、この事業の一部を賄うべく募金活動を開始します。

なお、この寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として、所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。また東京都区市町村など多くの自治体では、個人住民税の寄附金控除の対象となります。

皆様方におかれましてはその趣旨をご理解の上、絶大なるご支援、ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

**※ この基金への寄付は、助成先団体に寄付者の氏名と金額をお伝えさせていただきます。
匿名希望の場合は、予めその旨をお知らせください。**

2017年6月吉日

「日本の絆」基金 発起人一同

発起人代表 松平 定知

発起人 伊藤 滋

発起人 三浦 正幸